



令和8年度
学校だより
9月号

Shin
OGURA

新しい自分をつくる
未来をつくる

令和8年8月28日

互いを認め合い、共に支え合う学校へ

■ 夏休み明けのスタート — ゆっくり、それぞれのペースで

長い夏休みが明け、校舎に子どもたちの賑やかな声が戻ってきました。久しぶりの再会を喜び合う姿が見られる一方で、夏休み中の生活リズムからの切り替えに少し戸惑ったり、不安や疲れを感じたりしているお子さんも少なくありません。

この時期、大人が焦って「早くいつものペースに戻しなさい」と背中を強く押しすぎると、心身の緊張が一気に高まってしまいます。大切なのは、一人ひとりの心の状態に寄り添い、小さな変化やSOSを見逃さないことです。

学校でも、子どもたちが安心して「素の自分」を出せる環境づくりを最優先に進めてまいります。焦らず、一歩ずつ、それぞれのペースで学校生活のリズムを取り戻していけるよう、ご家庭でも温かく見守っていただければ幸いです。

■ 「不寛容」な社会だからこそ、温かい眼差しを

近年、社会全体を見渡すと、SNSなどを通じた他者への厳しい批判や、効率・正解ばかりを求める不寛容な空気が広がっているように感じられます。しかし、失敗を極度に恐れるような環境の中では、子どもたちは安心して挑戦することも、自分らしく思考することもできません。

本校が大切にしている「自己選択・自己決定」の学びは、互いの違いだけでなく、同じところや共感できる部分も含めて、**相手を丸ごと尊重し認め合う関係**があってこそ成り立ちます。

「みんなと同じ」が正解だった時代は終わりました。自分とは異なる考えや個性に出会ったときも、似たようなところで思いを共有したときも、まずはその存在をしっかりと受けとめること。そして、自分の苦手なところは誰かに補ってもらい、自分の得意なところで誰かを助けること。そうした多様性を認め合う「安心感」と「協働」の経験こそが、これからの変化の激しい時代を生き抜く子どもたちのしなやかな強さを育てます。

■ 【お知らせ】学校運営協議会主催 特別講演会のご案内

こうした本校の教育方針とも深く響き合うテーマについて、保護者の皆様・地域の皆様と共に考える機会として、特別講演会を開催いたします。

- **日時：** 9月26日（土）10：00～12：00（受付9：45～）
- **場所：** 新小倉小学校 アリーナ（体育館）
- **講師：** 三木 則尚 氏（慶應義塾大学 理工学部 教授）
- **演題：** 「これからの教育について」

三木先生は、「『みんなと同じ』が正解だった時代は終わった」という視点から、子どもの無限の可能性を引き出す探究学習や、個性が輝く学びのあり方を追求されています。「正解」のない時代を生きる子どもたちのために、今、大人にできることは何か。学校・家庭・地域が手を取り合って子どもたちの未来を創るための、大きなヒントが得られる時間になるはずです。詳細や参加お申し込みにつきましては、ホームページ

【学校からのお知らせ】「[20年後の社会を生きるわが子のために、今、親ができること。](#)」をご確認のうえ、9月17日（木）までにお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。